連載

HTMLライク専用BML記述で
CQ出版社式オリジナル表示にも挑戦！

ご購入はこちら

はじめての地デジ・データ放送

テレビのdボタン

濱田 淳

第8回 必ず確認するデータ放送の神様的存在！ARIB（アライブ）規格

表1 神様的存在！主なデータ放送向けARIB規格
データ放送に関する仕様や規定を細かく規定

規 格	内 容
ARIB STD-B24	データ放送規格 （データ放送のメイン規格）
ARIB STD-B35	データ放送素材交換規格 （データ放送素材の交換方式）
ARIB STD-B10	伝送制御規格 （制御信号，電子番組表）
ARIB TR-B14	地上波用データ放送規格 （データ放送のメイン規格）
ARIB TR-B15	BS衛星放送用データ放送規格 （データ放送のメイン規格）

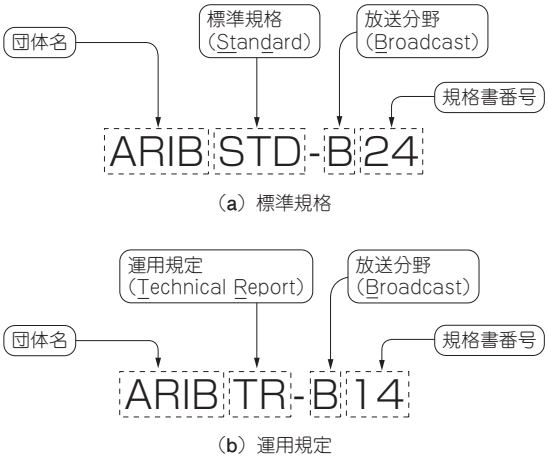

図1 ARIB規格書番号の見方
ARIB規格は「標準規格」と「運用規定」の二つに分けられる

本連載では，データ放送画面の制作過程を一通り紹介してきました．前回（第7回，2015年10月号）までで例としてCQ出版社の雑誌を紹介するデータ放送画面を制作してきました．

今回はデータ放送表示を行うときに従わないといけない，データ放送の画像フォーマットやBMLの規定，伝送プロトコルなど，細かい仕様を定めた標準規格ARIB（アライブ）を紹介します（**表1**，**図1**）．

ARIBとは

● 放送/通信分野の日本標準規格を策定する団体

データ放送を含む日本のデジタル放送規格は，ARIB（日本語名：一般社団法人電波産業会，英語名：Association of Radio Industries and Businesses）という団体によって日本標準規格として規格化され，規格書としてまとめられています．

ARIBで規格化されるのは放送分野と通信分野です．そのためARIBの規格書は，放送分野の規格と通信分野の規格に分けられます．

● 活動目的

ARIBは，通信/放送分野における電波利用システムの実用化，およびその普及を促進し，電波産業の健全な進歩発展を図る観点から，電波の利用に関する調査，研究，開発，コンサルティングなどを行い，公共の福祉を増進することを目的としています．主に以下の業務が行われています．

①通信/放送分野における電波の利用に関する調査，研究
②通信/放送分野における電波の利用に関するコンサルティング，普及啓発活動
③通信/放送分野における電波利用システムに関する標準規格の策定
④通信/放送分野における電波の利用に関する関連外国機関との連絡，調整，協力

● 中心的な活動…日本標準規格の策定

ARIBでは，特に③の日本標準規格の策定業務を中心に行っており，放送分野では日本のBS衛星放送から始まってきた「デジタル放送」の標準規格を策定してきました．現在はこれらの規格書はインターネット上で公開されており，誰でも閲覧可能です．URLは次のとおりです．

http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html

第1回 データ放送表示の基本メカニズム（2015年1月号）
第2回 テレビの中で行う処理（2015年2月号）
第3回 HTMLライク！データ放送用BML記述の基礎知識（2015年4月号）